

たつのまち  
議会  
だより No. 77

日本のど真ん中  
信州辰野町



Center of Japan

36° 00'00" N 138° 00' 00" E



大城山中腹に現れた「令」の文字 (いいまちたつの知らせ隊)

第五次総合計画後期基本計画 最終年度予算可決!

3月定例会報告

2

一般質問

11

委員会レポート

6

活性化に向けた活動

17

現地視察調査

10

町民の声

18



辰野町議会

# 令和2年度 歴代3位大型予算を可決

## 第五次総合計画後期基本計画の最終年予算スタート

3月定例会 3月2日～3月19日（18日間）開催

[本会議]◎議案審議 3/2・19 ○一般質問 3/9・10

[常任委員会]○総務産業／福祉教育 3/11・12 ○現地視察 3/13

### 歳入 町税収入は約23億6千万円、前年度とほぼ同額

- ・町債総額は約4億2千万円で前年度比34.4%減。一般財源の不足分は基金の取り崩しと町債の発行で補う。
- ・上伊那で高齢化率が最も高く人口減少が続く、これまで好調であった法人税収にかげりがみられ、交付金や地方交付税等を積極的に活用。

### 歳出 町営霊園合葬式墓地建設に着工

#### 一般会計

86億6,000万円

（前年度比 6,000万円減 0.7%減）

#### 特別会計（8事業）

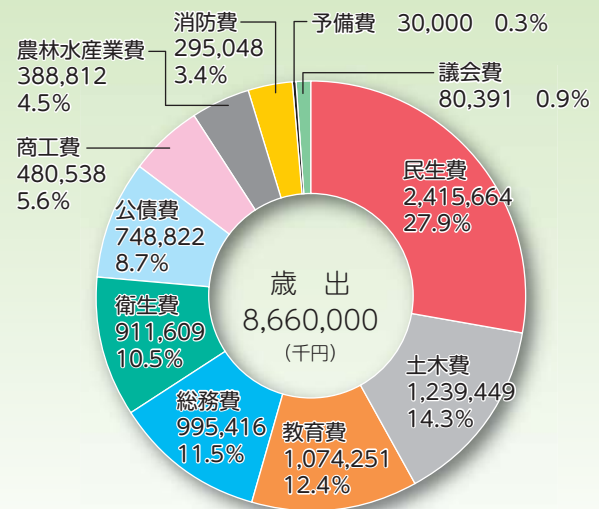
92億9,667万円

（前年度比 6億4,667万円増 7.5%増）

#### 総額

179億5,667万円

（前年度比 5億8,667万円増 3.4%増）



令和2年度一般会計歳出目的別内訳

●議会費 前年度比 1,357万円減  
議員2名減ほか

●民生費 前年度比 3,644万円増  
介護用品購入助成事業ほか

- Q 町社会福祉協議会負担金の内容は。
- A 地域福祉推進事業の委託において不採算部分の社協職員人件費を負担する。
- Q 介護用品購入助成事業の内容は。
- A 住民税非課税世帯で要介護2～5の65歳以上在宅高齢者の紙おむつ代等に、介護度により月額3千円～5千円を支給する。
- Q 児童福祉総務事務費が前年度比4,179万1千円増額の理由は。
- A 保育料の無償化と特定保育施設制度移行により「ヨゼフ幼稚園の施設型給付費負担金」が主なもの。



●土木費 前年度比 8,214万円減  
県道下諏訪辰野線関連事業ほか

- Q 大規模盛土造成地変動予測調査はどこか。
- A 町内4箇所（新町工業団地、豊南短大、大石平など）である。
- Q 荒神山体育館の改修工事とは何か。
- A 耐震化を含み、国からの補助金の動向により単年度事業であるかは不確実。
- Q 北沢工業団地遺跡調査報告書が出来ていないが企業誘致は可能か。
- A 企業誘致の話は可能。企業から引き合い等の質問に対応できるように東西線への出入りを含め検討を進める。



北沢東遺跡調査跡地



## ●教育費 前年度比 5,160 万円減

## 天然記念物再生事業ほか

- Q 校務支援システムの内容は。
- A 通知表や指導要領を作成管理し、連絡もできるシステム。
- Q 辰野図書館 1 階エアコン改修工事の内容は。
- A 電気式冷暖房に改修する。
- Q 天然記念物再生事業委託料とは。
- A 小野シダレグリ自生地 2.2ha の下草払いを 4 年間で行う。
- Q たつの未来館運営事業の地域おこし協力隊 3 人は、未来館運営に特化した協力隊を増やすものか。
- A 町全体のスポーツ振興を担ってもらおう。



荒神山スポーツ公園全景（ドローン）

## ●総務費 前年度比 3,863 万円減

## 人件費は会計年度任用職員制度施行により増

- Q 辰野高校、信州豊南短大への教育環境整備支援は。
- A 地域おこし協力隊 1 名を配置し、地域・企業のコーディネートを実施。
- Q 庁舎改修の基本設計で優先される改修は。
- A 大規模改修ではなくエレベーター設置とトイレの洋式化。
- Q 住民参加型防災マップ作成の対象はどこか。
- A 大城山山系を対象にしたい。
- Q 情報通信の主要システム更新の時期は。
- A 概ね 5 年で更新し再リースもある。

## ●衛生費 前年度比 697 万円減

## 町営霊園合葬式墓地建設ほか

- Q 予防費の保健衛生予防事業は何か、実施時期は。
- A 新予防接種、ロタウイルス予防接種を任意接種。令和 2 年 10 月実施。対象者は令和 2 年 8 月 1 日以降に生まれた子ども。
- Q 町営霊園合葬式墓地建設工事の業者選定は。
- A 設計管理及び工事費を一括してプロポーザル方式で行う。
- Q 町保健対策推進事業の「骨髄移植支援事業」の内容は。
- A ドナーや勤務先の負担軽減と、骨髄移植とドナー登録者拡大を推進するための事業。

- Q 健康ポイントの変更点とポイント交換人数見込みの根拠は。
- A 職場健診、人間ドックや日頃の健康づくりも必須項目とし、国保の健康ポイント交換率を根拠に交換人数 1,000 人を見込む。
- Q 水道費の内容は。
- A 令和 2 年度に統合する簡易水道の建設改良に係わる企業債償還金を上水道事業会計に繰り出す。

## ●公債費 前年度比 811 万円増

## ●商工費 前年度比 2,244 万円増

## 大城山頂アクセス道路舗装工事ほか



大城山からの眺望

- Q 商工会の経営指導員や町の企業相談員他との連携は。
- A 様々な企業支援を役割分担で行っている。
- Q 地方創生推進交付金事業「メッセたつの」の開催は。
- A 協力体制が整っている辰中生とスタート。今後、たつの仕事フェスから深い学びにつなげ、パッケージ化したい。

## ●農林水産業費 前年度比 5,166 万円増

## 森林経営管理制度向上委託ほか

- Q 6 次産業化、食の革命プロジェクトのゴールはどこか。
- A あんぽ柿等芽が出始めた。ドラゴン・シードルは評価が高い。独立し広く認知され辰野ブランドとなるまで、しばらく補助事業対象としたい。



ドラゴン・シードル

- Q 土づくりセンターの今後はどうなるか。  
 A 処理方法を変更し通常運転が可能となった。運営委員会で短期・長期の方針を出したい。
- Q 森林環境譲与税の活用や森林経営管理制度の対応は。  
 A 新年度補正で森林環境譲与税の基金を取り崩し、当初予算と合わせ森林の所有関係等から確認し進める。
- Q しだれ栗森林公園のトイレ工事の内容は。  
 A パターゴルフ場など2箇所を洋式化し、管理棟内の洋式化だけ残る。

**意見** 「人・農地プランの実質化」策定に際し、地域の特性をふまえてアドバイスできる地域おこし協力隊が必要。

### ●消費費 前年度比 1,427万円増

#### 上伊那広域消防負担金ほか

- Q 緊急防災・減災事業債の最終年の消防団備品購入は。  
 A 消防小型ポンプ積載車2台と防火衣20セット購入する。

### ●予備費 前年と同額

### ●令和元年度補正予算（金額は千円以下四捨五入）

- ①一般会計補正予算（第9号）4億3,813万円増  
 東・西小学校トイレ、辰野中学校第二体育館改修工事他



辰野中学校第2体育館

- ②上水道事業会計補正予算（第3号）  
 排水施設改良事業の起債200万円増
- ③公共下水道特別会計補正予算（第3号）  
 公共下水道引き継ぎ金他1億9,166万円増
- ④特定環境保全公共下水道特別会計補正予算（第1号）  
 特定環境保全公共下水道引き継ぎ金他8,793万円増
- ⑤農業集落排水処理施設特別会計補正予算（第3号）  
 農業集落排水事業引き継ぎ金他64万円増
- ⑥国民健康保険特別会計補正予算（第3号）  
 一般被保険者療養給付費他2,545万円増
- ⑦介護保険特別会計補正予算（第3号）  
 サービス給付費等諸費他2,321万円増

### ●追加提出議案

- ①辰野町道路線の認定について  
 認定路線名2684号（赤羽）
- ②令和元年度社会資本整備総合交付金事業町道74号線工事請負契約について  
 ・コンクリート吹付工、鉄筋挿入の増工による契約金額変更  
 ・契約金額 5,335万円  
 （当初契約金額 4,730万円）  
 ・契約の相手方  
 小野工業株式会社（辰野町小野）

### ●選挙管理委員会委員及び補充員の選任

- ①選挙管理委員会委員  
 一ノ瀬安正氏、金子文武氏、山内喜好氏、竹淵光雄氏
- ②補充員と補充順位  
 （1番）登内俊美氏（2番）土田九一氏  
 （3番）熊谷俊美氏（4番）小澤一元氏

### ●議員発議

#### ◆発議第1号

医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書の提出について

2022年度以降の医師養成定員減を見直し、医療現場と地域の実態を踏まえ医師数をOECD平均以上の水準に増やす。

#### ◆発議第2号

議会広報編集特別委員会設置に関する決議について  
 「議会だより」や議会報告会のまとめ等を1年を通して行う。

#### ◆発議第3号

新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書の提出について

感染症対策に対し十分な財政支援、相談体制や検査実施等の強化、感染予防物資の確保と安定供給、学校臨時休業に伴う子どもの心のケアと家庭支援、経済活動等への財政支援を要請。





● 「私はこのように討論し、判断しました。」

議案	主な内容	委員会審査 (※)審査なし	本会議 審査
<b>【令和2年度辰野町会計予算】</b>			
議案第1号 一般会計予算	<p><b>議案に反対 (小澤)</b> 川島小学校の令和2年度生徒数が全校で13名である。このことは教育委員会の見解、「川島小学校は提言通り、統合の対象として準備を進める必要がある」と結論を出さざるを得ない。」に該当する。したがって、この2年間川島地域活性化のために行ってきた施策を生かすためにも、町長の3年間のチャレンジ期間を待つことなく、令和2年度予算は、例年通りでなく、統合を考えての予算とするべきである。</p> <p><b>議案に賛成 (向山)</b> 議会は「辰野町立小中学校あり方検討委員会」の提言を尊重するとともに、町長の「3年間時間を欲しい」ということを了としてきた経過がある。少人数学級の良さと、規模において限界はある。川島から小学校入学前の子供がいなくなるという現実もあり、統廃合には厳しい判断が必要になる。統合には準備に3年位かかり、予算の否決は子ども・保護者の不安を招く。予算案反対ならば修正動議として示すべきだ。</p>	可決	賛成10 反対1 可決
議案第2号～第9号	令和2年度会計予算について、内容は委員会レポートに掲載	可決	可決
議案第10号・11号 議案第13号～第21号	条例改正について、内容は委員会レポートに掲載	可決	可決
議案第12号	辰野町特別職の職員で常勤のもの等の給与に関する条例の一部を改正する条例について	※	可決
<b>【令和元年度補正予算及び追加議案】</b>			
議案第22号～第30号	内容は4ページに掲載	※	可決
<b>【陳情 第1号～第6号】 (内容は委員会レポートに掲載)</b>			
陳情 (第1号)	国土交通省告示第98号の履行に関する陳情書 提出者：(一社)長野県建築士事務所協会 会長 小河節郎氏・上伊那支部長 松村隆一氏	趣旨 採択	趣旨 採択
陳情 (第2号)	最低制限価格の設定に関する陳情書 提出者：(一社)長野県建築士事務所協会 会長 小河節郎氏・上伊那支部長 松村隆一氏	趣旨 採択	趣旨 採択
陳情 (第3号)	耐震診断・耐震改良に関する陳情書 提出者：(一社)長野県建築士事務所協会 会長 小河節郎氏・上伊那支部長 松村隆一氏	趣旨 採択	趣旨 採択
陳情 (第4号) 国に対して「国民健康保険料(税)引き下げのため国庫負担の増額を求める意見書」の提出を求める陳情書 提出者：上伊那社会保障推進協議会 代表者 小林伸陽氏	<p><b>不採択に反対 (吉澤)</b> 国保運営側の全国知事会、全国市長会、全国町村長会の求める本陳情の不採択に反対。国保料は同じ所得の協会けんぽの1.3倍、組合健保の1.7倍と高く、1人平均年間8万円に増えた国保料は所得の2割になるケースがある。国保加入世帯の滞納率が全国平均15%、長野県11%と異常事態。国庫負担割合が50%から25%に引き下げられ、高すぎる国保料となり暮らしを圧迫し命と健康を脅かしている。</p> <p><b>不採択に賛成 (津谷)</b> 国庫支出金の抜本的増額は、厳しい財政状況下で国保制度の持続は非現実的で不適当であり不採択に賛成。国保の公費はH26年「保険料軽減措置(約500億円)」と毎年約3400億円の財政支援拡充に努め国民の財政基盤を強化した。H30年の国保制度改革で都道府県も国保の保険者になり国の責任で追加財政支援が行われた。「協会けんぽ」並みの保険料引き下げの公費1兆円は国庫負担率を言及していない。</p>	不採択	賛成3 反対8 不採択
陳情 (第5号) 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 提出者：上伊那地区労働組合連合会 議長 唐澤 功氏	<p><b>不採択に反対 (瀬戸)</b> 最低賃金は都道府県別で2019年度は長野県848円、最高が東京1,013円、最低790円と223円の差があり年収約43万円の収入差となり都会と地方の格差を拡大し、若者が都会に行き地方企業は労働力不足となる。全国一律最低賃金とすべき。国の目指す最低賃金1,000円では暮らしていけない現状。最低賃金の引き上げをしやすくするためには中小企業への国の支援拡充が必要であり、不採択に反対。</p> <p><b>不採択に賛成 (舟橋)</b> 中小企業の支援策拡充は求めるが、最低賃金1,500円以上と全国一律最低賃金は反対である。昨年、最低賃金が27円上がり長野県も時給848円で政府目標1,000円に届かないが毎年是正。中小企業の経済環境は厳しく支援策の必要性を強く感じる。最低賃金1,500円以上を目指すは雇用側の支払い能力等に時間を要し現実とかい離。「全国一律最低賃金」は地域の物価等に差があり地域別最低賃金が妥当。</p>	不採択	賛成3 反対8 不採択
陳情 (第6号)	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情書 提出者：長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子氏	採択	採択

\*賛否が分かれた採決の結果は以下の通り。(敬称略)

- ①令和2年度辰野町一般会計予算について (賛成) 吉澤、向山、瀬戸、舟橋、松澤、山寺、樋口、池田、津谷、矢ヶ崎 (反対) 小澤
- ②陳情 (第4号) について (賛成) 吉澤、向山、瀬戸 (反対) 舟橋、松澤、山寺、樋口、池田、津谷、矢ヶ崎、小澤
- ③陳情 (第5号) について (賛成) 吉澤、向山、瀬戸 (反対) 舟橋、松澤、山寺、樋口、池田、津谷、矢ヶ崎、小澤

## 特別会計予算審査

### ◆議案第2号 上水道事業会計予算

総額7億1,822万円、前年度比3,377万円増。令和2年度から町内全ての簡易水道等が上水に統合され、上水道事業会計となります。

**問** 簡易水道等支援員の配置期間は。

**答** ある程度町職員で対応できる体制がとれるまで。

### ◆議案第3号 下水道事業会計予算

総額17億5,685万円、前年度比5億8,860万円増。令和2年度から特環、農集、公共下水道事業が統合され、かつ地方公営企業法を適用して下水道事業会計となります。

**問** 今後の収支見通しは。

**答** 経費節減で純利益の計上と内部留保の増額が見込めるので、そんなに暗い見通しではない。

### ◆議案第8号 地域情報告知システム特別会計予算 総額1,585万円、前年度比27万円減。

**問** 加入状況、受信機の在庫は。

**答** 受信機は3,450台で在庫は約300台ある。

**問** 将来のシステムをどうするのか。

**答** 現在利用しているドコモのFOMAのサービスが2026年から受けられなくなる可能性があるため、検討していく。

※公営企業会計は、収益的収支・資本的収支の合計額。

※上水道、下水道会計の前年度比は、統合した会計の合計額との比較。

特別会計・企業会計予算の3議案については、委員全員一致で可決すべきものと決しました。

## 条例審査

### ◆議案第10号

#### 職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部改正

4月から施行される会計年度任用職員の勤務条件等を規則で定めるために条例に根拠規定を明記するもの。

### ◆議案第11号

#### 職員の育児休業等に関する条例の一部改正

法律で制度化されている職員の育児短時間勤務を条例に定めるもの。

**問** 制度化された上伊那他市町村で利用実績がほとんどないのは。

**答** 3年間の育休やゼロ歳児保育、部分休業制度があるため。

### ◆議案第13号

#### 消防団設置に関する条例等の一部改正

消防団員の年齢の上限を無くし、機能別団員制度の導入を可能にするための改正。

**問** 機能別団員の基準を設けるべきでは。

**答** 分団長会で検討していく。

### ◆議案第14号

#### 地域情報告知システム等の設置及び管理に関する条例の一部改正

放送業務全般をLCV(株)に依頼し、町は番組提供のみ行う形態に変更するための改正。

**問** 番組審査会を廃止した後の対応は。

**答** 広報企画委員会で協議していく。

### ◆議案第15号 手数料徴収条例の一部改正

#### 関係法令の改正に伴う改正。

**問** 住民票関係で実質的な改正は。

**答** 住民票除票の保存年限が5年から150年になる。

### ◆議案第18号 上水道事業給水条例の一部改正

水道法改正により、給水装置工事業者に5年の更新制度が導入されたことに伴う改正。対象工事店89社で、そのうち町内は16社。

(審議結果)

以上の条例案6件は、委員全員一致で可決すべきものと決しました。



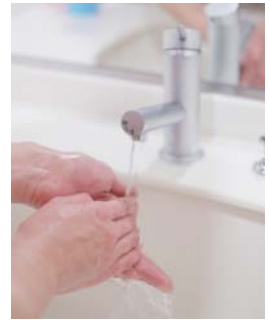
## 陳情審査

- 建物の設計・管理業務委託について、国基準に基づいた算定を求める陳情
- 設計・管理業務の入札・見積に当たり、予定額の90%以上の最低制限価格設定を求める陳情
- 耐震診断等について、国基準に基づく業務報酬の算定を求める陳情

町の実情を確認した上で、陳情の趣旨は理解できるが、町の入札等の業務は適正に行われているとして、以上3件は全員一致で趣旨採択にすべきと決しました。

- 最低賃金改善と中小企業支援拡充を求める陳情  
賛成1、反対4で、不採択にすべきと決しました。

- 新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書  
総務産業常任委員会の発議として、本会議に提案しました。



## 町長への要望事項

- 農業政策におけるビジョンの体系化・見える化を  
町の様々な農業振興施策の関係性や体系が分かりにくく、ビジョンも見えていない。取組の成果やニーズ、課題を体系的に明らかにし、町全体の農業ビジョンを示すよう要望する。

**町長** 町営農センターを中心に「辰野町農業ビジョン」の策定を進めている。第六次総合計画の将来目標とも共有する内容となるよう、検討している。「次世代へつなぐ辰野町農業」「消費者とつながる辰野町の食」「人と人がつながる辰野町の農業」が基本方針だが、農業と健康の点にも注目している。

数値や事業が可視化できるものとなるよう進めていきたい。



辰野町営農センター

- 地域情報告知システムの更新に関する検討の推進を

同システムは町の広報・通信手段の中核的役割を果たしてきたが、更新期を迎えつつある。技術的知見を有する専門家を含めた新たな組織を早期に立ち上げ、更新検討を加速するよう要望する。

**町長** 早急に役場内に検討組織を立ち上げ、必要に応じて専門的、技術的な情報を得ながら方向性を出していく。検討過程では、その都度外部の委員会に経過を報告して意見を求め、より良いシステムにしていきたい。



地域情報告知システム端末



## 特別会計予算審査

### ◆議案第4号 国民健康保険特別会計

総額 20 億 1,002 万円、前年度比 7,947 万円減。  
公費である前期高齢者交付金等の増加による県全体の納付金が減少し、これにより県へ納める事業費納付金が減額算定されました。

**問** 基金繰入れがゼロという予算だがその理由は。

**答** 事業費納付金の減額が大きい、定年退職後も就労する高齢者の増加や、後期高齢者への移行人数増により今後、国保加入者が減ってくると見込む。

### ◆議案第5号 国民健康保険診療所特別会計予算

総額 524 万円、前年度比 119 万円減。患者数の減少及び、訪問診療の減少による歳入減が見込まれます。

### ◆議案第6号 後期高齢者医療特別会計予算

総額 3 億 1,192 万 5 千円、前年度比 1,935 万 5 千円の増。後期高齢者数の増加により、医療費給付の増加が見込まれるなか、健康寿命延伸のための事業に取り組みます。

### ◆議案第7号 辰野病院事業会計予算

収益的収入は 21 億 2,985 万 2 千円、前年度比 1.7%減。令和 2 年度より訪問看護ステーション事

業会計と病院事業会計を統合しました。医業収益の入院収益は増額、外来収益は減額の見込みで、前年度比 0.7%減を見込んでいます。健診を担う医師確保ができました。

**問** 病院職員の健診は増えたのか。

**答** 増収対策チームで職員の健診を呼びかけて、増えている

### ◆議案第9号 介護保険特別会計

総額 20 億 259 万 4 千円で、前年度比 9,412 万 8 千円増。歳入では、保険料、国県支出金、支払い基金交付金、一般会計繰入金などが増加しました。歳出では、サービス給付金など、令和元年度 10 月に処遇改善加算など介護報酬の改定により増額が見込まれます。

**問** 新事業の地域介護予防活動支援事業の内容は。

**答** 地域で自主的に、運動予防・口腔機能・認知症予防・栄養指導など行っている団体やグループに対して支援する。

特別会計・企業会計予算の 5 議案について、委員全員で可決すべきものと決しました。

## 陳情審査

■陳情第4号 国に対して「国民健康保険（税）引き下げのため国庫負担の増額を求める意見書」の提出を求める陳情

全員一致で、不採択にすべきと決しました。

■陳情第6号 医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情

全員一致で、採択にすべきと決しました。

### ■ 地域包括ケアシステムの可及的速やかな構築と地域包括支援センターの活性化を

地域包括ケアシステムの構築に対して、地域包括に特化した人事や独立した地域包括支援センターと医療・福祉・介護・教育等の関係機関の連携が急務と考える。システムの中核となる地域包括支援センターの独立させた在り方と活性化を要望します。

**町長** 地域支援事業を活用し高齢者の自立生活を総合的に支えるサブシステムとして地域包括支援センターを強化する。全世代型地域包括ケアシステムの構築は、地域包括支援センターを拠点に地域ケア会議を開催し、地域に必要とされる社会支援の構築に取り組む。





## 条 例 審 査

### ◆議案第 16 号 災害弔慰金の支給に関する条例の一部改正

国の関係法令の改正に伴う改正。辰野町災害弔慰金等支給審議委員会を新しく設置します。

**問** 辰野町災害弔慰金等支給審議委員会とは何か。

**答** 災害が原因での死亡なのか調査するため、町長容認において設置し、調査審議する。

### ◆議案第 17 号 介護保険条例の一部改正

介護保険法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴うもので、第一号保険者についての保険料の減額賦課にかかる保険料率と年額保険料の改正。

### ◆議案第 19 号 保育園条例の一部を改正する条例及び特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

子ども・子育て支援法の趣旨に沿って組織の見直しを行うことに伴うもの。ヨゼフ幼稚園が新制度に移行、施設型給付となります。

### ◆議案第 20 号 町立辰野病院設置等に関する条例の一部を改正

診療科目の変更及び令和 2 年度から訪問看護事務事業を町立辰野病院事業会計へ移行します。

### ◆議案第 21 号 町立辰野病院料金条例の一部改正

特別室使用料を 8,000 円と 3,000 円の 2 通りに設定します。

**問** 値上がりする部屋もある。変更の理由は。

**答** 近隣の病院の室料と比べても安い。患者さんの事を考えた金額設定とした。

以上、条例案 5 件は、委員全員一致で可決すべきと決しました。



町立辰野病院

## 町長への要望事項

### ■ たつの未来館運営業務の活性化と改善及び運営業務委託について

令和元年 9 月議会において、運営管理及び委託等の検証検討を要望したが、具体的な内容が可視化されなかった。関係者連携によるゼロベースからの検証検討を、多面的に重ね可視化していくことを要望します。

**町長** 実績と課題を十分に検証しスポーツを通じた健康寿命延伸を目指すための拠点として町民に親しまれる施設になるように関係者が一丸となって努力している。荒神山公園の管理運営に携わっている団体、アラパの利用者、体育協会などを加えた検討組織を立ち上げ、次年度早期に運営方針を決めていく。

### ■ 新型コロナウイルスに対する町独自の対策について

世界的に猛威をふるっている新型コロナウイルスの予防及び感染拡大防止の観点から、マスクやアルコール消毒液等を速やかに医療機関や福祉施設への配布の援助と備蓄の検討を要望します。

**町長** 町の備蓄物資のマスクは今後の状況により配布の検討をする。今後の備蓄については、改めて検討する。



## 総務産業常任委員会



町道1076号線



- ・社会資本整備総合交付金事業  
町道1076号線工事
- ・湯舟浄水場緩速ろ過池 長寿命化工事等
- ・大城山頂アクセス道路
- ・かやぶきの館ボイラー2基更新

## かやぶきの館



湯舟浄水場



大城山頂アクセス道路

## 現地調査

# 令和2年度はどんな事業があるの？

実施予定の主な事業箇所を視察し、いずれも全員一致で認定すべきものと決しました。

## 福祉教育常任委員会



小野シダレグリ



東部保育園



- ・町営霊園合葬式墓地
- ・東部保育園改修工事  
(プールサイド・未満児テラス)
- ・小野シダレグリ自生地再生事業  
業務委託



町営霊園







今回の定例会で、11名の議員が一般質問に登壇しました。町民の皆さんに代わり、様々な視点から町に問いかけました。

豊かな自然を守るまち		
横川溪谷森林資源の有効活用について	小澤	P12
辰野町の森づくりについて	樋口	P13
太陽光発電等規制条例について	吉澤	P14
湖周行政事務組合による板沢地区への最終処分場建設計画について	向山	P15
横川蛇石発電所について	矢ヶ崎	P16
横川ダム公園(親水公園)について	矢ヶ崎	P16
健やかな笑顔あふれるまち		
令和2年度の福祉政策について	津谷	P11
一人も取り残さない社会保障について	津谷	P11
町のスポーツ振興策について	池田	P13
妊産婦への医療費助成について	瀬戸	P14
病児・病後児保育について	瀬戸	P14
人口動態と対応について	吉澤	P14
聴力検査と補聴器への補助について	松澤	P16
特定地域づくり事業推進法について	矢ヶ崎	P16
認知症保険制度について	矢ヶ崎	P16
安心・安全なまち		
新型コロナウイルスに対する町の対応について	樋口	P13
町の個人情報管理について	池田	P13
ごみの減量化・資源化対策について	瀬戸	P14
防災体制の強化について	吉澤	P14
新型コロナウイルス対策について	吉澤	P14
安全運転サポート車について	松澤	P16
新型コロナウイルス感染症について	矢ヶ崎	P16
ゴミ訪問収集について	矢ヶ崎	P16
仕事に活力と魅力があるまち		
インターンシップ事業の成果について	山寺	P12
地域食材加工施設の補助金について	山寺	P12
辰野町の農業政策について	舟橋	P15
明日を担う人材と文化を育むまち		
辰野町小中学生のスマートフォン、タブレット、ゲーム機使用の問題点について	山寺	P12
西小学校夏休みプール使用中止のその後について	山寺	P12
子供の居場所づくりと辰野町における小学校の未来像について	樋口	P13
教職員の長時間労働是正について	瀬戸	P14
学校教育における放射線教育について	向山	P15
学校教育現場における働き方改革について	向山	P15
辰野町の教育方針について	舟橋	P15
家庭教育支援について	松澤	P16
行政改革の推進によるまちづくり		
辰野町第六次行財政改革大綱における公共施設のあり方について	小澤	P12
令和2年度予算について	池田	P13
町の公営企業の運営について	向山	P15



・全ての項目はホームページで閲覧できます。  
 ・質問は「辰野町第五次総合計画後期基本計画」の「将来目標」の項目に沿って区分けしています。

## 新年度における福祉施策の取り組みは



津谷 孝 町長

### 町長 全世代型地域包括ケアシステムの構築

**問** 地域包括ケアシステムの推進状況は。

**課長** 地域包括ケアセンターを中心に65歳以上対象のニーズ調査を行い、課題を検討する地域ケア会議を開催、今後も継続する。ふれあいサロンを中心に、フレイル(虚弱)予防にも力を入れている。

**問** 新事業の全世代型地域包括ケアシステムとは。

**課長** 地域包括ケアシステムを基盤に、高齢者が生き生きと暮らせる、安心して子育てができる、障がい者が働き生活していけるといった、お互いに支え合う地域づくりを考え、その先にある健康寿命の延伸につなげていく支援体制。住民や地域のニーズや人材資源の状況等を把握し分析するため、地域包括ケア連絡協議会を立ち上げ、関係機関団体との連携を図り役割分担等も行って行く。



全世代型地域包括ケアシステム

### 一人も取り残さない社会保障は

**問** 独居高齢者の支援は。

**課長** 地元だけでは対応できない状況があるので、新たな地域資源の開発の検討が必要。フレイル対策に力を入れ、介護保険事業と介護予防事業を一体的にする。状況チェックなどを行い疾病予防や重症化予防を図るなど、地域ぐるみでフレイル予防と介護予防を行い、健康寿命や高齢者が元気で活動できる活動寿命を延ばしていく。

**問** 中高年のひきこもり支援は。

**課長** 表に現れない問題であるが、潜在的な支援ニーズをつかみ、断らない相談支援など積極的な施策を考えていく。伴走コーディネーターや関係支援機関と連携を取り、生活困窮や就労支援にあたっていきたい。

### その他

- ・ 出産、育児など子育て支援の現状は。
- ・ ひとり親世帯の支援は。



山寺  
はる美  
議員



子どものスマホ・  
タブレットの依存は  
深刻、指導体制は

**教育長**  
家庭での指導・管理  
が重要と考える

**問** 町内の小中学生のスマホ・タブレットの使用状況や問題点は。

**課長** スマホなどの所有者数は、小学生は全体の16%、中学生は1年生20%、2年生30%、3年生50%。1日の平均使用時間は小学校低学年が30分から1時間未満、高学年が1～2時間、中学生は2時間未満。

問題点は長時間ゲームをやり過ぎて昼夜逆転してしまい不登校になってしまった例や、SNSなどを通じて名前や住所を聞かれた事案も数件確認している。

**教育長** 子どもへの直接指導はもちろん、特に家庭に対する啓発が重要になってくる。



ゲームとタブレットに夢中になる子ども

**実践型インターンシップを町内企業にどう働きかけるか**

**問** 5年が経ったインターンシップ事業は、町民にあまり理解されていない。委託事業者と企業相談員、企業訪問者との連携はとっているのか。

**課長** 連携はとっているが、町内企業に説明して理解してもらう努力が足りなかったかもしれない。以後努力する。

**地域食材加工施設の状況は**

**問** 地域ブランド創設担当の地域おこし協力隊が進めているお試し加工所の進捗は。一昨年行った「みんなの加工セミナー」の受講者に声掛けを。

**課長** 4月にオープン予定、声掛けを検討する。

**西小学校夏休みのプール使用中止のその後は**

**問** 学校のプール開放のリスクは、町全体の小学校の問題として考えるべきでは。

**教育長** 各校は、学校行事に伴うリスクをいかに少なくするか努力している。新たな手段も含め、来年度開放できるか学校と知恵を出し合う。

小澤  
睦美  
議員



サイクリング推進  
のため、蛇石上の  
ゲート解放交渉を

**町長**  
落石の危険性から  
解放はむずかしい

**問** 蛇石から三級の滝入口までの道路を拡幅し、通行者の安全確保のために、森林環境譲与税を活用した、国と町が管理をする併用林道化を国と協議できないか。

**町長** 法面等国が安全対策を実施した後、併用林道化も可能となるが、現状では考えていない。

また、森林環境譲与税は、民有林整備には活用出来るが、国有林のため利用できない。



かやぶきの館のサイクリングスタンド

**行財政改革大綱からみた川島小学校のあり方**

**問** 全校児童数が12名では、辰野町立小・中学校あり方検討委員会の統合提言にある学級規模最低基準10名に到底及ばない。統合にならないのか。

**町長** 川島小学校は、単に施設の統廃合で矮小化すべきではなく、持続可能性のある地域の実現という町の将来像に通じる観点から対応すべきと考えている。

**問** 存続に向けた明確なビジョンと現在までの成果は。行財政改革大綱の趣旨に反していないか。

**町長** 行財政改革大綱は、あくまでも町の総合計画実現への財政的な側面から位置づけられているもの。従って、一面だけ捉えるのは妥当ではない。地域とそこに暮らす住民にとって何が大切で、将来にどんなビジョンを描くか、そこに小学校がどのような役割があるのかという視点が必要。町は、総合的に勘案して判断する。

**問** 再度質問、学校としての明確なビジョンと成果をどのように出せるのか。

**町長** 学校にとって地域とは何なのか、地域にとって学校とは何なのか、まだまだ正解が見いだせない状況にある。

### 小学校の未来像は



樋口 博美 議員

**町長** 児童数の減少を見据え、特色ある小中学校の姿を描く

#### 学校に通えない子どもたちは

**問** 子どもたちのケアは。  
**教育長** 多くの先生が関わりながら対応している。  
**問** 学区を越えた通学はできないのか。  
**教育長** 基本学区は決まっているが、学区を越えての通学は可能。教育委員会へ相談を。  
**問** 小学校の未来の姿は。  
**町長** 地域との連携を考え、小学校は統合しても校舎を活用できないか検討。  
**要望** 誰一人として取り残さない。子どもが学び舎を選べる環境をつくることを要望。

#### 辰野町の森づくりは

**問** 松くい虫の被害状況は。  
**課長** 被害木は3本、燻蒸処理を実施。松枯れ木は34本確認、処理済。  
**問** 将来の森林の姿は。  
**課長** 森林整備計画により実施。年に1回地元説明を実施。経営計画が無い地域については町が関与して実施の方向へ。  
**問** 森林譲与税の活用方法は。  
**課長** 森林整備に使うことが急務だが、本年度は台帳整備を計画している。将来個人で手が入らない山林は町が実施へ。  
**問** 辰野町の山への想いは。  
**町長** 災害に強い山づくりを進め、林業はもとより多面的な利用が出来る山づくりを目指す。



間伐実施林分

#### 新型コロナウイルスへの対応は

**問** 病院の対応は。  
**事務長** 熱があれば通常の診察をするので外来へ。  
**問** 発熱外来の設置は。  
**事務長** 現在は考えていない。  
**問** 保健所への紹介はあったか。  
**事務長** 数件あって紹介した。  
**問** 小学校の休校対応は。  
**教育長** 国要請の3月2日ではなく6日から実施と決めた。子どもや保護者の気持ちに寄り添って対応した。

### 人口減少問題への施策は



池田 睦雄 議員

**町長** 総合的対策と従来の継続事業の確実な推進

**問** 「人口減少対策」の施策は。  
**町長** ①子育て環境整備で保育料無料化 ②生活インフラ充実で水道関連施設整備 ③産業の若者育成でメッセ支援 ④移住定住促進で町営霊園合葬墓地建設 ⑤子育て世代支援で住宅取得費の一部補助がある。  
**課長** 「辰野町・ひと・しごと創生総合戦略」の目標に、5年先の人口減少率1%以内を加える。  
**問** 産業振興の取り組みは。  
**課長** 企業育成と大手企業誘致および企業基盤強化に取り組む。  
**問** 地方創生推進交付金の補助事業は。  
**課長** 「信州伊那谷つながりとしごと創出事業」に補助率1/2の交付金を活用するため、明確なビジョンを持ち実効性のある施策とする。  
**問** 第六次総合計画策定の進捗状況は。  
**課長** 計画通り進捗中。辰野町創生総合戦略会議を開催。18歳以上2千人にアンケートを実施し、回答率46.9%。併せて人口動態調査結果を分析中。

**問** マイナンバーカード取得のメリットは。  
**課長** 公的身分証明書、オンライン確定申告、キャッシュレス決済、健康保険証、自治体のポイントに活用したい。  
**問** 町によるマイナンバーカードの情報漏えい対策は。

**課長** 2要素認証でID・パスワードとカード認証に加えて手静脈認証を利用。インターネットから分離、USBデータ持出し防止ソフトの導入。  
**問** 荒神山スポーツ公園の活性化は。  
**課長** 長寿命化施策で施設の改修を進め、改修済みのアラバ、たつの海ジョギングコース等の利用を促進する。老朽化した武道館と陸上競技場は、利用状況と利用者の意見を聞き検討していく。  
**要望** 「ど真ん中プロジェクト」に「ど真ん中まちスポーツ公園」として組み入れ、町の活性化施設にしてほしい。





瀬戸 純 議員

町内での  
病児・病後児保育  
実施計画は

**町長**  
施設見学や制度研究を始めた  
引き続き検討

「いのちの支援」妊産婦医療費助成の考えは

**町長** 有効施策だと思うが、現在の出産数で試算し年300万円の財政負担となる。今後、県や他市町村を注視し慎重に精査すべきと考える。

町独自の燃やせるゴミ減量対策を

**問** 平成31年4月から、資源にできないプラスチックゴミが燃やせるゴミで出せるようになり、資源プラスチックの量は減少したが、燃やせるゴミは増えた。ごみ処理施設の管理・運営に関する町負担金にもゴミの重量は大きく関わる。ゴミ減量への町独自の対策は。



減ってきた資源プラスチックゴミ

**町長** 各家庭での残飯の水切りや、食品ロス削減等、各自で取り組むことが減量につながる。広報で周知を進める。

**問** ごみ減量の目標数値を設定し、町民に対して減量の進捗状況を伝え、検証することが重要だと考えるが。

**町長** 設定をしなくてはならないものではないので、当町では目標数値設定はしない。

教職員への1年単位変形労働時間制導入に反対

**問** 令和3年度から運用が予定されている教職員への1年単位変形労働時間制の導入。繁忙期は1日10時間まで勤務を可能とし、1日8時間労働の原則を破り勤務時間を延長する制度。現実には繁忙期・閑散期はなく、長時間勤務にあえぐ教職員の働き方をさらに悪化させる。今やるべきは教員の定数を増やす等であり導入に反対だが、町の考えは。

**教育長** 現在より勤務がきつくなる。導入は困難。仕事を減らすには教職員の増員しかない。



吉澤 光雄 議員

福祉避難所拡充・  
被災河川対策など  
防災体制の強化を

**町長**  
防災体制の強化・  
充実に努める

**問** 避難所生活などで亡くなる割合は、障がいのある人は無い人の3倍で、福祉避難所の拡充は急務。災害時の要支援者数と福祉避難所の受入人数は。保健センターを福祉避難所にしては。

**課長** 災害時要支援者は1852人で、福祉避難所の受け入れ人数は老人福祉センターで80人、3つの民間施設は開設時に決める。福祉避難所として、「福寿園」「きりとう」とも協議をしている。

**問** 区の役員が変わっても継続的に支援する防災組織を、各区に作るようすすめては。

**課長** 区により状況が違い、区の判断によるが、防災士協議会などと相談していく。

**問** 宮木楡沢の砂防工事で、河畔林が上部まで皆伐された。斜面崩壊防止や防風・景観改善のために、竣工後に、直根のある広葉樹苗の植栽を。

**課長** 工事は令和3年度竣工予定。伐採地は県が買収済みで、地元で対応できれば県と協議は可能。

**問** 台風19号で被害が出た向袋地区北の沢は倒木が多く、人家等に被害を及ぼす恐れがある。河畔林整備事業で除間伐を行い、そこへ斜面崩壊を防ぐため、同じく広葉樹苗を植えるよう県に要望を。

**課長** 地元から要望があれば県に申請する。地元負担は無い。民地なので、植栽は町ではできない。

**問** 住宅耐震改修補助制度について、住民の準備資金が少なくて済むよう、町からの補助金(上限100万円)を業者に直接支払うよう改善を。

**課長** 必要があれば、検討していく。



北の沢(向袋)倒木状況

その他

- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・太陽光発電等規制条例
- ・人口減少対策

法律で議会の会議は原則公開と決められていますので、非公開とされる議案の審議以外は、傍聴出来ます。



## 最終処分場 地下水調査 どう生かす

**町長**

水源への影響判れば  
計画は白紙撤回へ



むつひろ  
むつひろ  
光  
議員

**問** 井出の清水水源への影響が明らかにならなかった場合には。

**町長** 川の最上流部への最終処分場建設に反対する考えに変わりはない、との地元と同じ立場だ。

### 地方公営企業の経営理念は

**町長** 経済性を重視しながら住民福祉の増進を図ることが基本。国が示す基準に基づく繰出しは、単なる赤字補填ではなく、将来にわたって持続可能な経営のためであり、今後も維持していく。

**問** 上下水道の統合、公営企業法の適用の意義は。

**町長** 人口減少が進み、施設が老朽化する中で、将来にわたって安定的に経営を行っていくために、経営状況を的確に把握し、経営戦略を策定し、経営基盤を強化していくことを目的にしている。

**問** 水道法改正に伴う官民連携への考え方は。

**町長** 町の事業規模等、整備しなければならない課題が山積しており、持続可能な給水サービスの実現に向けた取り組みを優先する。



簡易水道等の経営統合に関する調印式

**問** 辰野病院の経営についての基本的考えは。

**町長** 財政的負担があるが、病院があることは最大の福祉と考え、健全な経営を目指していく。

### 文部科学省の放射線副読本の使用状況は

**教育長** 積極的、計画的に扱うという事例はない。

**問** 副読本は内容が不正確で問題があるのでは。

**教育長** 教育委員会事務局で内容を精査し、校長会で校長の意見も聞いていきたい。

### 教職員の働き方改革、どう対応する考えか

**教育長** 新学習指導要領による授業時間、負担増が課題。小学校高学年に教科担任制を導入して、教材研究の負担軽減を図りたい。

## 人・農地プランの 実質化に向けた 課題は

**町長**

地域に担い手がない場合の  
対策が一番の課題



ふなばし  
ひでひと  
議員

**問** 辰野町の農業の課題と対策は。

**課長** 定年延長などで担い手の確保が困難。現在頑張っている若い担い手を手厚く支援し、定年帰農者も取り入れたい。また、国の補助事業も活用し、収入の安定化に寄与したい。耕作放棄地に関しては、人・農地プランの中で解決していく。

**問** 「人・農地プランの実質化」の狙いと今後は。

**課長** 農地の集積・集約を進める中で担い手を確保し、地域農業を守り、維持するのが狙い。すでにアンケートを実施、今後は地区単位で協議を行い、来年度中にプランを完成させる予定。



豊かな田園風景をいつまでも

### 町内の小中学校の ICT 推進に向けて

**問** ICT 機器の導入状況は。

**課長** 大型モニターは小学校 153 台、中学校 33 台。タブレットは教員用含め小学校 235 台、中学校 250 台を導入。併せて Wi-Fi 環境も整備。

**問** 教職員への支援や研修は。

**課長** 専任の ICT 支援主事が授業支援を行う。トラブルや相談にも対応。また県の出前講座など外部講師による研修も受講。

**問** ICT 推進における課題は。

**教育長** 文科省は 2023 年度にはタブレット 1 人 1 台を目指している。費用的に自治体の負担は大きい。また、現在の法律では教員を増やすことができず、教員への負荷が更に増すのではと大変危惧している。

**意見** 国際社会で活躍する人材の育成には、ICT 活用や英語教育のみならず、日本人としてのプライドを育む文化歴史の教育も必要である。

聴力低下による  
認知症の  
予防対策は

町長

聴力検査をお手軽検査に  
組み込んでいく



松澤 千代子 議員

**問** 高齢になってくると、自分の衰えを数値で自覚する事が大切だが、聴力検査を巡回型の住民検診や特定検診に組み込むことはできないか。

**課長** 巡回型の住民検診や特定検診は検診実施機関に委託しているため、法律や要綱に定められたもの以外はできない。しかし、国立長寿医療研究センターの追跡調査により、聴力の衰えは、ひきこもりや認知症の発症リスクが高いことが分かっている。町独自の方法として、町立辰野病院の「お手軽検査」のメニューに加えて500円で実施していくことにした。

**問** それに加えて補聴器への補助もできないか。

**課長** 加齢性難聴者の補聴器購入について、南箕輪村では令和2年度より実施する事が決定している。近隣市町村の動向を見ながら調査研究をしていく。

**問** 高齢者の移動手段確保の一端として、町独自のサポカー補助金制度を考えているか。

**課長** 高齢者の移動手段として欠くことのできない車に対して、その安全を担保する本制度の有効活用は、町としても重要な課題と捉えている。塩尻市ではこの2月より始め9台の申請があったと聞いている。調査研究を重ねた上で検討していく。



辰野病院のお手軽検査

**問** 家庭での教育支援として保護者の悩み相談体制が、教育委員会や行政のみではなく、地域の中で継続的にできる仕組みを構築できないか。

**町長** 協働のまちづくり支援金を使いながら、地域全体で子育てを支援する仕組みづくりを進める。その上で全世代型地域包括支援へ取り入れていく。

新型コロナウイルス  
感染症対応は

町長

国・県と情報共有し  
必要な対策を行う



矢ヶ崎 紀男 議員

**問** 県教委の分散登校検討を受けて町の対応は。

**教育長** 現段階では、町として統一した分散登校の実施は考えていない。今後も臨時休校が長引く場合は検討が必要。

**問** 休校中の家庭訪問の状況は。

**教育長** 課題の達成状況の確認や児童生徒の健康状態の確認も必要のため、2～3日に1回は担任を中心に家庭訪問を行うよう依頼している。

**問** 町内宿泊施設、飲食、小売店への影響は。

**課長** 2月初めころよりキャンセルが発生し、千数百万円の減収となっている。外国人の予約が多いところでは30件予約のキャンセルが発生している状況。合宿のキャンセルは13団体で、約840人に及ぶ。



新型コロナウイルス感染予防への呼びかけ

ゴミ訪問収集は

**問** ひとり暮らしの高齢者が増える中、自力でゴミを収集場所に運べない問題が深刻化しつつあるが。

**課長** ごみ出し困難者のゴミをクリーンセンターへ直接持ち込むルールについて、関係市町村の協議が始まった。担当者会議では、市町村が本人の代わりに搬入するルールについて検討している。

認知症保険加入制度への対応は

**問** 令和2年度に加入する意向は。

**課長** 辰野町において、この保険の対象となるのは、30人程度と見込んでいる。今後、他自治体や国の政策効果の分析に注視しつつ研究したいと考えている。

A 本会議は、議場入り口の受付表に住所氏名等を記入し、傍聴してください。委員会の傍聴は、あらかじめ各委員長の許可を得てください。





# 議会活性化に向けて

一人でも多くの町民の皆さんに議会、また町政に関心を持っていただくために、毎月委員会を開催し、新たな取り組みを進めております。昨年度の活動の一部を報告いたします。

## 町民と議員の タウンミーティング

町民の皆さんの声をより身近に伺いたいとの思いで、議会として初めて地域に出向いて開催しました。(令和元年 11/15,16 開催)

初めての試みとして、小野地区と新町地区で行いました。今年度も引き続き地区開催し、皆様のご期待に添えるよう努力してまいります。

※次回の開催は 18P をご覧ください。

## 辰高生と 議員の懇談会



地元の辰野高校に通う生徒の皆さんが、将来どんな学校になったら良いのかという思いを共有し、議会としてもどのような支援ができるのかを探求するため、初めて懇談会を開催。(令和元年 12/18 開催)

その後も生徒の皆さん、先生方と協議を続けておりますが、今後の辰野高校が更に魅力溢れる高校になるよう協力していきたいと考えております。

## 議会ペーパーレス化の調査

議会活性化の一端として、タブレット端末の導入に関する調査研究を開始いたしました。その目的は、ペーパーレス化によるコスト削減、議会活動・議員活動の充実を図ることにあります。

伊那市では、平成 28 年より本格導入しており、伊那市議会のご協力により導入までの経緯、活用方法、そして現状の課題等多くについてご教示いただきました。(2/14 訪問)

今後も引き続き、他の自治体の導入事例や最新の技術情報も入手しながら、調査研究を継続していく予定です。



# 議会 **初** のイベントも続々開催決定！

## 女性タウンミーティング



女性による意見交換会。別途各戸への回覧で案内しますが、多くの女性の参加者を募集します。

**日時** 令和2年7月17日(金)  
18:30~20:00

**場所** 役場2階 第6会議室

## 中学生議会

辰野中学校、両小野中学校の3年生代表による模擬議会を開催。若者目線のフレッシュな提案に期待。



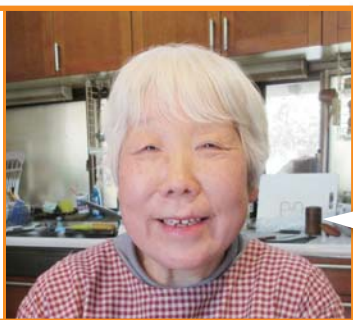
**日時** 令和2年8月26日(木)  
15:00~17:00

**場所** 辰野町議会議事堂



# 町民の皆さんの声をしっかりと受け止めます

中村ちほ子さん(小野)



地域の役員だが、心身ともに健康な人に、年齢や性別居住年数の制限なしで、役員をお願いするのが良いと思う。会合の時間も会社を休みやすい時間帯にしてほしい。

山崎 久吉さん(宮所)



様々な地区の役の担い手がなく、四苦八苦している。上手いシステムを考えて欲しい。  
独居家庭も増え、災害時の不安もあるが、民生委員のこまめな対応に感謝している。

上島 康稔さん(新町)



様々な貴重なご意見、ご要望をいただきました。ありがとうございます。



陸上競技をしているが、実力をつけてきた子どもたちが故郷へ戻らないケースが増え、チームの力が伸び悩んでいる。  
町の活性化も同様で、若者が戻れる環境づくりを希望する。

山内 和子さん(樋口)



議会を初めて傍聴した。町長や課長さんの言葉が一般的で解りやすく、その雰囲気わかって行政が身近に感じられた。また議員の熱心さも伝わってきて、感動した。

栗屋 雅子さん(下辰野)



西小の学童施設建設に当たり、座談会形式の話し合いが行われ、たくさんの意見や要望を伝えることができた。そんな女性のための堅苦しくない意見交換会を望んでいる。

今年度も皆さんの地元に戻ります

## 町民と議員のタウンミーティング

5月22日(金)に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記日程に変更となります。

**8月21日(金) 18:30~**

- 樋口地区：樋口コミュニティセンター
- 宮所地区：宮所コミュニティセンター

## 編集後記

新しい編集委員になってから、今号で4号目になりますが、紙面構成、綴じ代の変更、そして議会についてのクイズの提供等、お気づきでしょうか。

この議会だよりが、今まで以上に、町民の皆さんに関心を持っていただき、皆さんの声を町政に反映できる一助になればと思いながら今号をお届けさせていただきます。

議会広報編集委員 小澤睦美